

3 / 4号機排気筒 落下物対応について

2019年2月18日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 3 / 4号機排気筒落下物の概要

- 2019年1月9日午前11時45分頃、4号機廃棄物処理建屋周辺において、当社社員が鉄板（約25cm×約180cm,厚さ約6mm,重量約22kg）の落下物があることを確認した。
- 現場周辺を確認したところ、3 / 4号機排気筒の地上から高さ約76mにあるメンテナンス用の足場材が落下したものであると判断した。



メンテナンス用の足場があった箇所
(地上約76m)

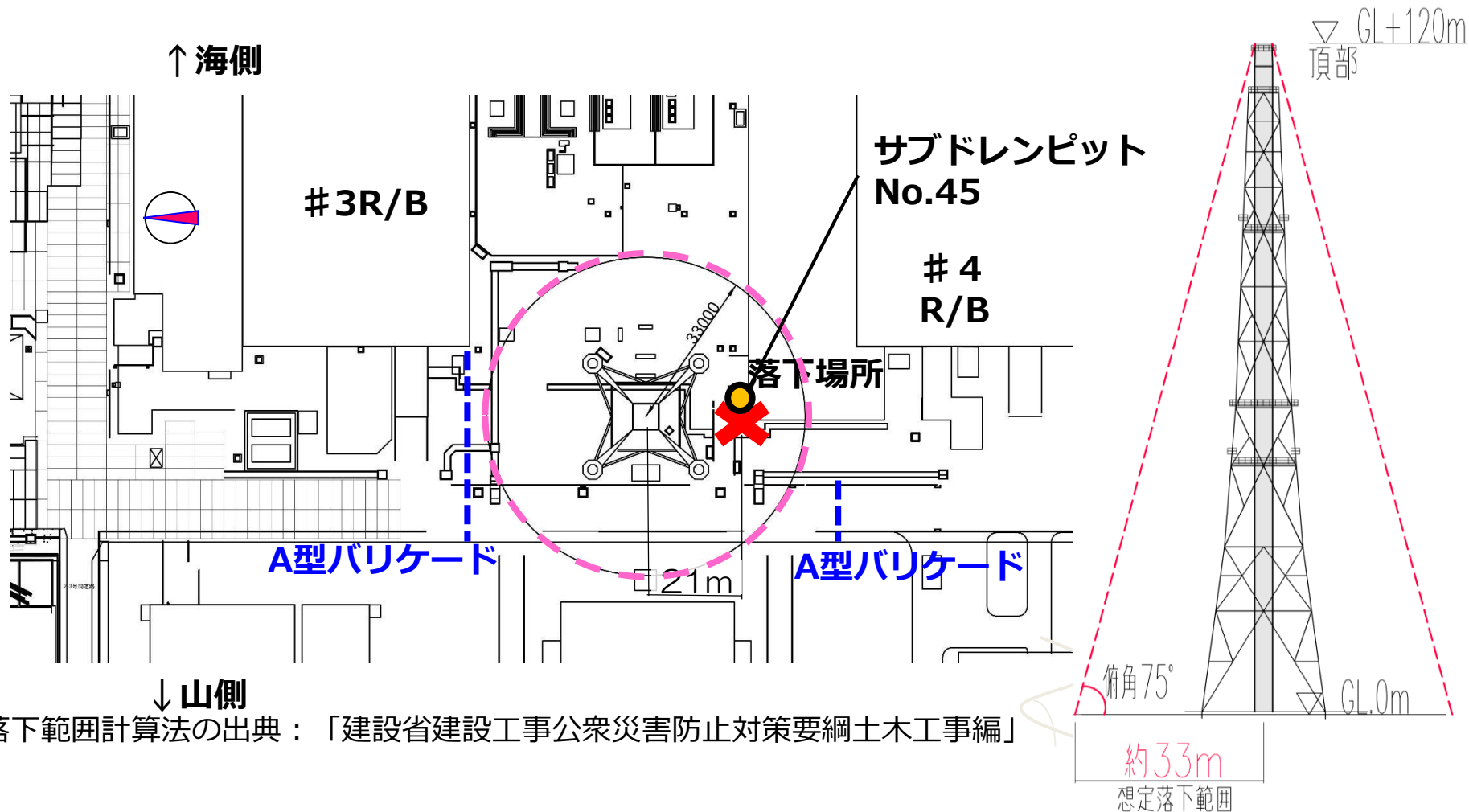
- 足場が落下した場所
- 足場が落下した排気筒
- 立入規制をした排気筒
(この他5/6号機排気筒も実施)



落下した点検用の足場

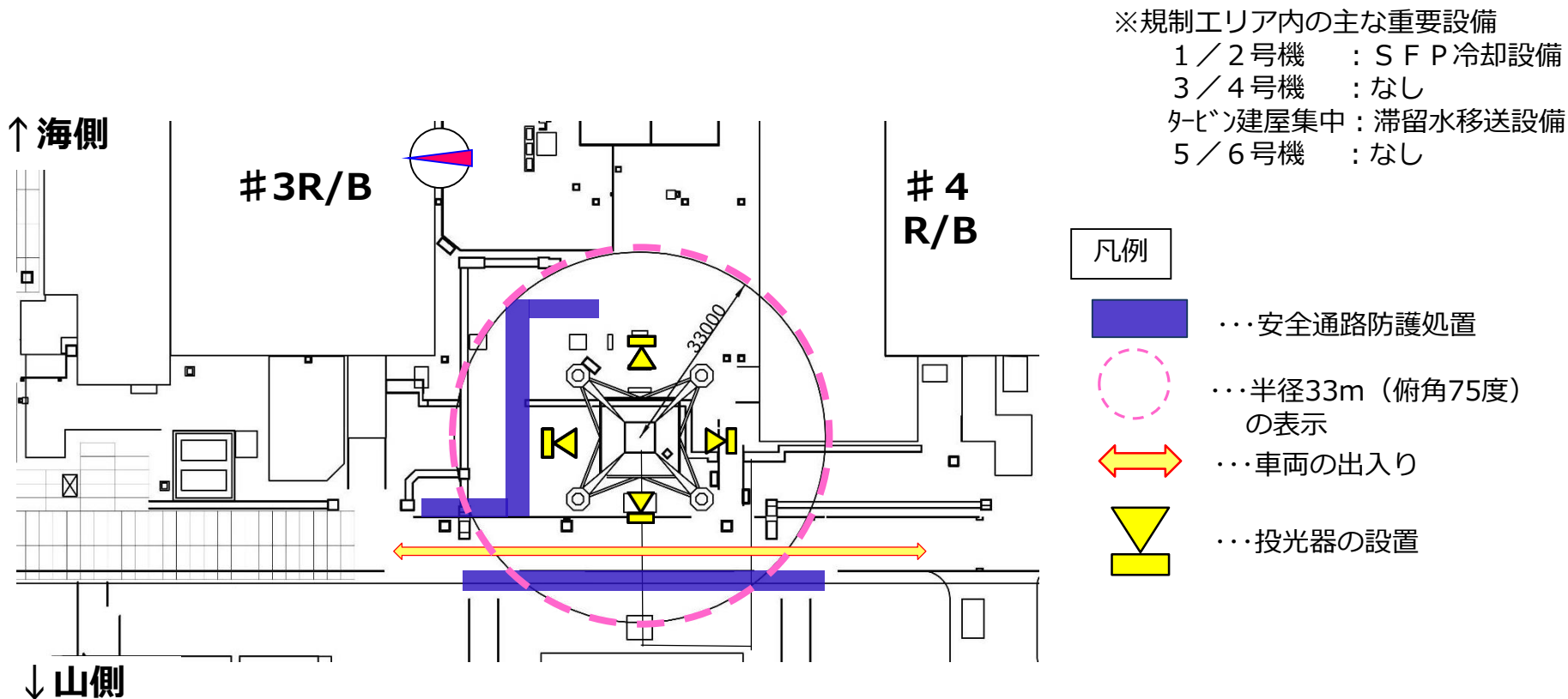
2. 応急対策実施状況

- 1月9日には、応急処置として排気筒中心から半径33mの範囲を区画し立ち入り規制を図った。
- 当該排気筒を含む構内4箇所での排気筒においても同様な措置を実施した。
- なお、規制エリア内での作業やパトロールを想定し、通過・作業運用ルールを定め、所員・協力会社に周知している。

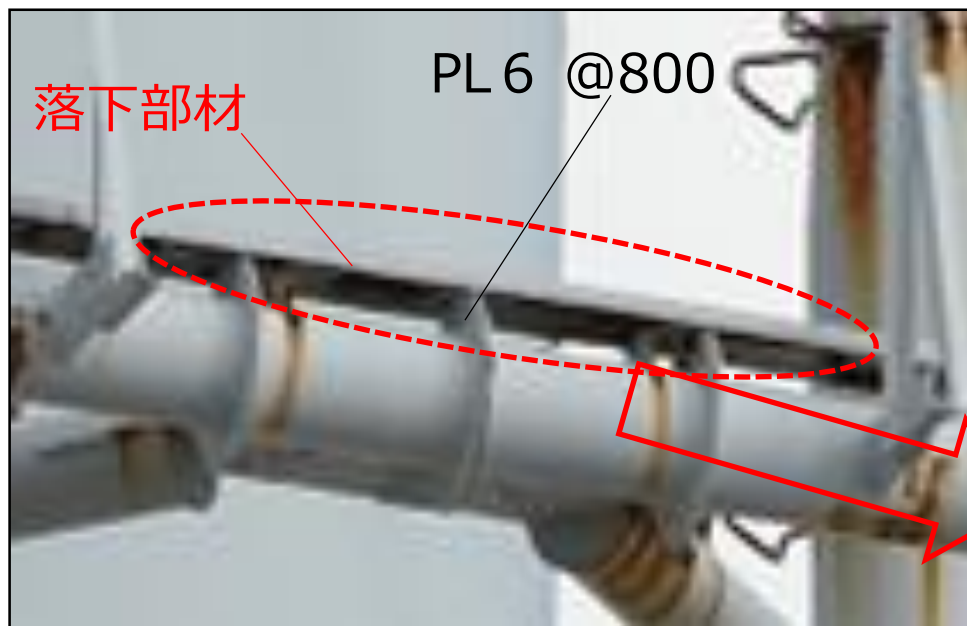


3. 今後の対応

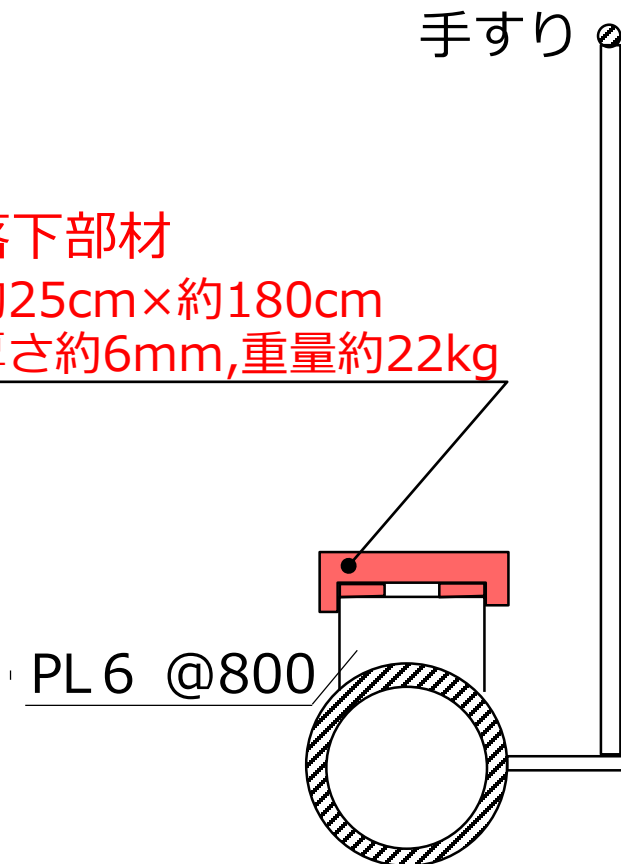
- 臨時点検を実施し更なる落下物リスクの早期発見に努めると共に、落下原因を特定するために、落下部材が取り付いていた付近のドローン調査を実施予定。(2月末日途)
- 規制エリア内の通行・作業のために、屋根付きの安全通路設置等の処置(下図)を今年度内を目途に構内4箇所の排気筒を対象に順次実施予定。
- 臨時点検における部材の落下リスクを踏まえた上で、重要設備*への防護対策を検討する。
- 4箇所の排気筒の線量環境や損傷・腐食状況に応じた落下物リスクの低減対策を検討中。



- 3/4号機排気筒は、昭和47年に竣工しているが、今回の落下部材は、昭和63年に改造工事に取り付けられた足場材(一部、竣工時部材含)である。



落下部材
約25cm×約180cm
厚さ約6mm,重量約22kg



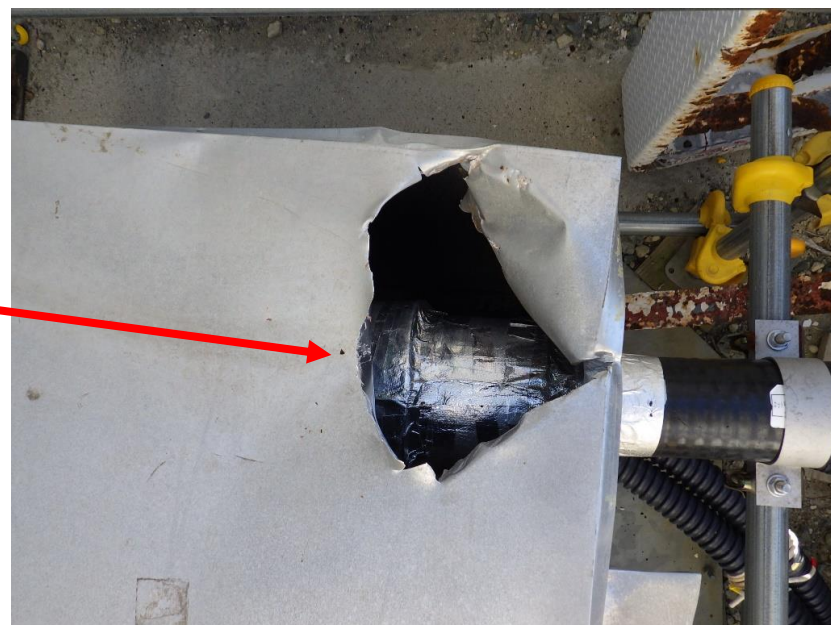
断面図



落下した足場

落下した足場の線量：～2.6 $\mu\text{Sv/h}$
(BG 1.5 $\mu\text{Sv/h}$ を含む)





落下してきた足場で損傷した
サブドレンカバー

落下してきた足場で損傷した
サブドレンカバー(拡大写真)

⇒サブドレン設備は損傷なし。サブドレンカバーは応急処置済み

- 臨時点検として、1月11日～17日にかけて、構内4本の排気筒を対象に、地上から望遠カメラによる写真撮影を実施。
- 現在、撮影した写真データをPC上で拡大し、今回落下した足場材や手摺りなどの2次部材を対象に劣化状況を確認する作業を実施中。(2月末日途)
- 今回落下した足場材と同様の劣化進行が疑われる足場材も確認されており、今後、さらに近接した位置からの画像確認のための追加ドローン調査を検討する。

臨時点検時の写真(速報)



劣化進行が疑われる足場材

3/4号機排気筒 南面 地上86m付近



健全と推定される足場材

3/4号機排気筒 南面 地上67m付近